

プレイベント

# 茶と器の魅力をひもとく、 金沢の美意識を 五感で味わう茶会

美術家

十一代 大樋長左衛門(年雄)



Toshio Ohi  
Chozemon XI

日本藝術院会員・美術家。

1958年、金沢で360年続く大樋窯十代大樋長左衛門(文化勲章受章者・日本藝術院会員)の長男として金沢に生まれる。1984年、ボストンユニバシティ大学院修士課程修了。2016年、十一代大樋長左衛門襲名。

作品は大英博物館(英国)、カウンティ美術館(米国)、上海芸術礼品博物館(中国)アウガルテン磁器美術館(オーストリア)等多くの美術館や公館などに所蔵されている。近年では、外務省派遣による米国、ブラジル、ハンガリー、オーストリア等各地で個展・講演会・茶会・ワークショップ等を行い、国内外での日本文化の普及に努め、2024年には外務大臣表彰を受けている。ロチェスター工科大学(米国)、上海工芸美術学院(中国)、金沢大学等各国で客員教授を務める。

ハンガリー国家勲章叙勲、恩賜賞・日本藝術院賞受賞、天皇陛下主催の宮中賜茶会や園遊会などへの招待の栄誉を受けている。近年では、石川県文化観光大使、日展理事、日本藝術院会員に就任している。



大樋転生茶盃

Ohi Tea Bowl Reborn 9+10+11

ばんせいコレクション所蔵  
©大樋美術館

メディアアーティスト

落合陽一



Yoichi Ochiai

メディアアーティスト。

1987年生まれ、2010年ごろより作家活動始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター長・教授、東京大学准教授。2025年大阪・関西万博ではシグネチャー事業プロデューサーを務めた。

主な個展として「天孫帰るってよ?」(鹿児島・霧島アートの森, 2026)、「日下部民藝館特別展」(岐阜・日下部民藝館, 2021-2025)など。「落合陽一・小川加恵 ~魂の計算 霊性の旋律」(金沢市アートホール, 2026)や「落合陽一 × 日本フィル プロジェクト 2018-2025」の演出など、さまざまな分野とのコラボレーションも手掛ける。

<https://yoichiochiai.com>

第一部

茶歌舞伎体験

第二部

十一代 大樋長左衛門 大樋年雄  
× 落合陽一 トークセッション

10/6(火) 14:00~16:00  
限定20名 15,000円(税込)  
茶室「閑清庵」金沢市文化ホール内  
(石川県金沢市高岡町15-1)

※料金には、茶歌舞伎体験(和菓子付き)、トークセッションへの参加、及び10月7日(水)開催の音楽公演チケットが含まれます。

<https://kanazawa-tea-arts.peatix.com>

■お問い合わせ/コンサート事務局 TEL: 050-1722-5301 Email: [earlymusicenterprise@gmail.com](mailto:earlymusicenterprise@gmail.com)  
※都合により内容が変更になる場合がございます。

主催: アーリーミュージックエンタープライズ株式会社  
特別協力: 大樋美術館 / ジセカイ株式会社

後援: 北國新聞社/金沢市/一般社団法人石川県芸術文化協会/一般社団法人金沢市観光協会/  
MRO 北陸放送/テレビ金沢/金沢ケーブル/エフエム石川/ラジオかなざわ・こまつ・ななほ

チケット取扱い



アクセス:  
JR金沢駅から/  
タクシー約10分、バス約15分

バスのご案内/  
金沢駅前(東口バスターミナル)  
3番・8~11番のりば「南町・尾山神社」下車  
徒歩約3分